

泥塗って厄払い

宮古島市平良島尻で「パントウ」

【宮古島】泥を全身にまとった神が、人や物に泥を塗って厄払いする宮古島市平良島尻の伝統行事で国指定重要無形文化財の「パントウ」が2、3の両日、同集落で行われた。

島尻のパントウは、毎年旧暦の9月吉日に同集落を訪れる。3体のパントウは全身につる草を巻きつけ、生まれ井戸（ンマリガ

ー）にたまった泥を全身に塗って登場。同集落の宗家に当たるムトウを訪れ古老に泥を塗りつけた。パントウは三方に分かれ、集落

内を練り歩き住民や観光客、新築の家、車など、人と物、老若男女に一切の差別をせず問答無用に泥を塗った。厄払いの泥とあって、ほとんどの人が笑顔で泥を受け入れた。子どもの多くは大声で泣き叫んで逃げようとしたが、親がわが子を差し出す姿も見られた。一方で「塗って塗って」と近づいてくる子どもや観光客を無視するなど、予測不可能な来訪神の動きに、訪れた人々は夜になっても盛り上がり続けた。新築の家に入られた島尻シズさん(79)は「厄払いに入ってもらえて健康になれる。ありがたい」と笑顔を見せた。

動画



無差別に厄を塗りつけるパントウ。9月吉日、宮古島市平良島尻

(2011年10月4日付 33面)

☆ふきだしにせりふをいれよう！

年 組 名前